FCスイッチのポート割り当て

ONTAP MetroCluster

NetApp
August 22, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-metrocluster/install-fc/fc-switch-port-assignment-overview.html on August 22, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

FCスイッチのポート割り当て . . . 1
MetroCluster FCスイッチのポート割り当て . . . 1
ケーブル接続の全体的なガイドライン . . . 1
AFF A900およびFAS9500の配線ガイドライン . . . 2
2 つのイニシエータポートを使用するシステムのポート割り当て . . . 2
MetroCluster FC構成におけるコントローラのBrocadeポートの使用 . . . 3
MetroCluster 1またはDRグループ1 . . . 3
MetroCluster 2またはDRグループ2 . . . 5
MetroCluster 3 または DR グループ 3 . . . 7
MetroCluster 4 または DR グループ 4 . . . 8
MetroCluster FC構成におけるFC-SASブリッジのBrocadeポートの使用 . . . 9
両方の FC ポート (FC1 と FC2) を使用する FibreBridge 7500N または 7600N ブリッジを使用したシェルフ構成 . . . 9
1つのFCポート（FC1またはFC2）のみを使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nを使用するシェルフ構成 . . . 12
MetroCluster FC構成におけるISLのBrocadeポートの使用 . . . 15
MetroCluster FC構成におけるコントローラのCiscoポートの使用 . . . 16
MetroCluster 1またはDRグループ1 . . . 17
MetroCluster 2またはDRグループ2 . . . 18
MetroCluster FC構成におけるFC-SASブリッジのCiscoポート使用 . . . 20
両方のFCポート（FC1およびFC2）を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nを使用するシェルフ構成 . . . 20
1つのFCポート（FC1またはFC2）のみを使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nを使用するシェルフ構成 . . . 22
MetroCluster FC構成におけるISLのCiscoポート使用 . . . 25
MetroCluster FC構成におけるコントローラのCisco 9132Tポートの使用 . . . 25
MetroCluster 1またはDRグループ1 . . . 26
MetroCluster 2またはDRグループ2 . . . 27
MetroCluster FC構成におけるFC-SASブリッジ用のCisco 9132Tポートの使用 . . . 28
MetroCluster 1またはDRグループ1 . . . 29
MetroCluster 2またはDRグループ2 . . . 29
MetroCluster FC構成におけるISL用のCisco 9132Tポートの使用 . . . 30

FCスイッチのポート割り当て

MetroCluster FCスイッチのポート割り当て

FCスイッチをケーブル接続するときは、指定のポート割り当てを使用していることを確認する必要があります。

イニシエータポート、FC-VIポート、またはISLの接続に使用されていないポートを、ストレージポートとして再構成できます。ただし、サポートされているRCFを使用している場合は、それに応じてゾーニングを変更する必要があります。

サポートされている RCF を使用する場合、ISL ポートは表示されているポートと同じポートに接続されない可能性があり、手動で再構成する必要がある場合があります。

ONTAP 9のポート割り当てを使用してスイッチが設定されている場合は、引き続き古い割り当てを使用できます。ただし、 ONTAP 9.1 以降を実行する新しい構成では、ここに示すポート割り当てを使用する必要があります。

ケーブル接続の全体的なガイドライン

ケーブル接続の表を使用する際は、次の点に注意してください。

- Brocade スイッチと Cisco スイッチでは、ポート番号の付け方が異なります。
  - Brocade スイッチでは、ポート番号は 0 から始まります。
  - Cisco スイッチでは、ポート番号は 1 から始まります。
- ケーブル接続は、スイッチファブリックの各 FC スイッチで同じです。
- AFF A300およびFAS8200ストレージシステムでは、発注時にFC-VI接続のオプションとして次のいずれかを選択できます。
  - FC-VI モードで設定されたオンボードポート 0e および 0f 。
  - スロット 1 の FC-VI カードのポート 1a および 1b 。
- AFF A700 および FAS9000 ストレージシステムの場合、 FC-VI ポートが 4 つ必要です。次の表に、Cisco 9250i スイッチを除く各コントローラに FC-VI ポートが 4 つある FC スイッチのケーブル接続を示します。

  他のストレージシステムの場合、表にあるケーブル接続を使用し、 FC-VI ポート c および d については無視してください

  これらのポートは空にしておくことができます。

- AFF A400 および FAS8300 ストレージシステムは、 FC-VI 接続にポート 2a と 2b を使用します。
- 2 つの MetroCluster 構成で ISL を共有する場合は、 8 ノード MetroCluster のケーブル接続と同じポート割り当てを使用します。
- ケーブル接続する ISL の数は、サイトの要件に応じて異なります。
- ISL に関する考慮事項についてのセクションを参照してください。

"ISL に関する考慮事項"

AFF A900およびFAS9500の配線ガイドライン

- AFF A900またはFAS9500ストレージシステムでは、FC-VIポートが8つ必要です。AFF A900またはFAS9500を使用している場合は、8つのポート構成を使用する必要があります。構成に他のストレージシステムモデルが含まれている場合は、表に示されているケーブル接続を使用し、不要な FC-VI ポートのケーブル接続は無視してください。

2 つのイニシエータポートを使用するシステムのポート割り当て

各ファブリックに 1 つのイニシエーター ポート、各コントローラーに 2 つのイニシエーター ポートを使用して、 FAS8200およびAFF A300システムを構成できます。

1 つの FC ポート (FC1 または FC2) のみを使用して、FibreBridge 7600N ブリッジのケーブル接続を実行できます。4つのあるイニシエータのうち2つだけを接続し、スイッチ ポートに接続されている他の2つのイニシエータは空にしておきます。

ゾーニングを手動で実行する場合は、1 つの FC ポート (FC1 または FC2) を使用する FibreBridge 7600N ブリッジに使用されるゾーニングに従います。この場合は、各ファブリックのゾーン メンバーごとに2つではなく1つのイニシエータ ポートが追加されます。

の手順を使用して、ゾーニングを変更したり、FibreBridge 6500NからFibreBridge 7500Nへのアップグレードを実行したりできます。 "FibreBridge 6500N ブリッジと FibreBridge 7600N / 7500N ブリッジのホットスワップ"。

次の表は、ファブリックごとに 1 つのイニシエーター ポートを使用し、コントローラごとに 2 つのイニシエーター ポートを使用する場合のBrocade FC スイッチのポートの割り当てを示しています。

1つのFCポート（FC1またはFC2）のみを使用するFibreBridge 7500N / 7600Nを使用する構成			
• MetroCluster 1 または DR グループ 1 *	• コンポーネント *	• ポート *	**6505、6510、6520、7840、G620、G630、G610、G710、G720、G730、DCX 8510-8**
• FC スイッチに接続 *	• スイッチポートに接続 … *	controller_x_1	FC-VI ポート a
1.	0	FC-VI ポート b	2.
0	FC-VI ポート c	1.	1.
FC-VI ポート d	2.	1.	HBA ポート A
1.	2.	HBA ポート b	2.

1つの**FC**ポート（**FC1**または**FC2**）のみを使用する**FibreBridge 7500N / 7600N**を使用する構成			
2.	HBA ポート c	-	-
HBA ポート d	-	-	スタック 1
bridge_x_1a	1.	8.	bridge_x_1b
2.	8.	スタック y	bridge_x_ya
1.	11.	bridge_x_YB	2.

MetroCluster FC構成におけるコントローラのBrocadeポートの使用

Brocade FC スイッチをコントローラにケーブル接続するために必要なポートの割り当てについて説明します。

以下の表は、DRグループあたり4つのコントローラモジュールを使用した場合の最大サポート構成を示しています。8それよりも小規模な構成の場合、余分なコントローラ モジュールの行は無視してください。つのISLは、 Brocade 6510、 Brocade DCX 8510-8、G620、G630、G620-1、G630-1、G720、およびG730スイッチでのみサポートされることに注意してください。

これらの表を使用する前に、次の情報を確認してください。

- 8 ノードMetroCluster構成におけるBrocade 6505、G610、および G710 スイッチのポート使用状況は表示されません。ポートの数に限りがあるため、コントローラ モジュールのモデルや使用しているISLおよびブリッジ ペアの数に応じて、サイトごとにポートを割り当てる必要があります。
- Brocade DCX 8510-8 スイッチでは、 6510 スイッチ * _ または _ * the 7840 スイッチと同じポートレイアウトを使用できます。
- Brocade 6520、7810、および 7840 スイッチは、8 つの FC-VI ポート (AFF A900およびFAS9500システム) を使用するシステムではサポートされません。
- Brocade 7810 スイッチは 1 つの DR グループのみをサポートします。

MetroCluster 1またはDRグループ1

次の表は、 Brocadeスイッチ上のMetroCluster 1 または DR グループ 1 でサポートされているコントローラ構成を示しています。

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**6505、G610、G710** ポート	**6510、DCX 8510-8** ポート	**6520**ポート	**7810**ポート	**7840**ポート	**G620、G620-1、G630、G630-1** ポート	**G720、G730** ポート
controller_x_1	FC-VI ポート a	1.	0	0	0	0	0	0	0
FC-VI ポート b	2.	0	0	0	0	0	0	0	FC-VI ポート c
1.	1.	1.	1.	1.	1.	1.	1.	FC-VI ポート d	2.
1.	1.	1.	1.	1.	1.	1.	FC-VI-2 ポート A	1.	16
20	N/A	N/A	N/A	16	2.	FC-VI-2 ポート b	2.	16	20
N/A	N/A	N/A	16	2.	FC-VI-2 ポート c	1.	17	21	N/A
N/A	N/A	17	3.	FC-VI-2 ポート d	2.	17	21	N/A	N/A
N/A	17	3.	HBA ポート A	1.	2.	2.	2.	2.	2.
2.	8.	HBA ポート b	2.	2.	2.	2.	2.	2.	2.
8.	HBA ポート c	1.	3.	3.	3.	3.	3.	3.	9.
HBA ポート d	2.	3.	3.	3.	3.	3.	3.	9.	controller_x_2
FC-VI ポート a	1.	4.	4.	4.	4.	4.	4.	4.	FC-VI ポート b
2.	4.	4.	4.	4.	4.	4.	4.	FC-VI ポート c	1.
5.	5.	5.	5.	5.	5.	5.	FC-VI ポート d	2.	5.

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**6505、G610、G710** ポート	**6510、DCX 8510-8** ポート	**6520**ポート	**7810**ポート	**7840**ポート	**G620、G620-1、G630、G630-1** ポート	**G720、G730** ポート
5.	5.	5.	5.	5.	5.	FC-VI-2 ポート A	1.	18	22
N/A	N/A	N/A	20	6.	FC-VI-2 ポート b	2.	18	22	N/A
N/A	N/A	20	6.	FC-VI-2 ポート c	1.	19	23	N/A	N/A
N/A	21	7.	FC-VI-2 ポート d	2.	19	23	N/A	N/A	N/A
21	7.	HBA ポート A	1.	6.	6.	6.	6.	6.	6.
12.	HBA ポート b	2.	6.	6.	6.	6.	6.	6.	12.
HBA ポート c	1.	7.	7.	7.	7.	7.	7.	13	HBA ポート d

MetroCluster 2またはDRグループ2

次の表は、 Brocadeスイッチ上のMetroCluster 2 または DR グループ 2 でサポートされているコントローラ構成を示しています。

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**6505、G610、G710** ポート	**6510、DCX 8510-8** ポート	**6520**ポート	**7810**ポート	**7840**ポート	**G620、G620-1、G630、G630-1** ポート	**G720、G730** ポート
controller_x_3	FC-VI ポート a	1.	N/A	24	48	N/A	12.	18	18
FC-VI ポート b	2.	N/A	24	48	N/A	12.	18	18	FC-VI ポート c
1.	N/A	25	49	N/A	13	19	19	FC-VI ポート d	2.

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**6505、G610、G710** ポート	**6510、DCX 8510-8** ポート	**6520**ポート	**7810**ポート	**7840**ポート	**G620、G620-1、G630、G630-1** ポート	**G720、G730** ポート
N/A	25	49	N/A	13	19	19	FC-VI-2 ポート A	1.	N/A
36	N/A	N/A	N/A	36	24	FC-VI-2 ポート b	2.	N/A	36
N/A	N/A	N/A	36	24	FC-VI-2 ポート c	1.	N/A	37	N/A
N/A	N/A	37	25	FC-VI-2 ポート d	2.	N/A	37	N/A	N/A
N/A	37	25	HBA ポート A	1.	N/A	26	50	N/A	14
24	26	HBA ポート b	2.	N/A	26	50	N/A	14	24
26	HBA ポート c	1.	N/A	27	51	N/A	15	25	27
HBA ポート d	2.	N/A	27	51	N/A	15	25	27	controller_x_4
FC-VI ポート a	1.	N/A	28	52	N/A	16	22	22	FC-VI ポート b
2.	N/A	28	52	N/A	16	22	22	FC-VI ポート c	1.
N/A	29	53	N/A	17	23	23	FC-VI ポート d	2.	N/A
29	53	N/A	17	23	23	FC-VI-2 ポート A	1.	N/A	38
N/A	N/A	N/A	38	28	FC-VI-2 ポート b	2.	N/A	38	N/A
N/A	N/A	38	28	FC-VI-2 ポート c	1.	N/A	39	N/A	N/A

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**6505、G610、G710** ポート	**6510、DCX 8510-8** ポート	**6520**ポート	**7810**ポート	**7840**ポート	**G620、G620-1、G630、G630-1** ポート	**G720、G730** ポート
N/A	39	29	FC-VI-2 ポート d	2.	N/A	39	N/A	N/A	N/A
39	29	HBA ポート A	1.	N/A	30	54	N/A	18	28
30	HBA ポート b	2.	N/A	30	54	N/A	18	28	30
HBA ポート c	1.	N/A	31.	55	N/A	19	29	31.	HBA ポート d

MetroCluster 3 または DR グループ 3

次の表は、 Brocadeスイッチ上のMetroCluster 3 または DR グループ 3 でサポートされているコントローラ構成を示しています。

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**G630、G630-1** ポート	**G730** ポート
controller_x_5	FC-VI ポート a	1.	48	48
FC-VI ポート b	2.	48	48	FC-VI ポート c
1.	49	49	FC-VI ポート d	2.
49	49	FC-VI-2 ポート A	1.	64
50	FC-VI-2 ポート b	2.	64	50
FC-VI-2 ポート c	1.	65	51	FC-VI-2 ポート d
2.	65	51	HBA ポート A	1.
50	56	HBA ポート b	2.	50
56	HBA ポート c	1.	51	57
HBA ポート d	2.	51	57	controller_x_6

* コンポーネント *	* ポート *	* **FC** スイッチに接続 *	**G630**、**G630-1** ポート	**G730** ポート
FC-VI ポート a	1.	52	52	FC-VI ポート b
2.	52	52	FC-VI ポート c	1.
53	53	FC-VI ポート d	2.	53
53	FC-VI-2 ポート A	1.	68	54
FC-VI-2 ポート b	2.	68	54	FC-VI-2 ポート c
1.	69	55	FC-VI-2 ポート d	2.
69	55	HBA ポート A	1.	54
60	HBA ポート b	2.	54	60
HBA ポート c	1.	55	61	HBA ポート d

MetroCluster 4 または DR グループ 4

次の表は、 Brocadeスイッチ上のMetroCluster 4 または DR グループ 4 でサポートされているコントローラ構成を示しています。

* コンポーネント *	* ポート *	* **FC** スイッチに接続 *	**G630**、**G630-1** ポート	**G730** ポート
controller_x_7	FC-VI ポート a	1.	66	66
FC-VI ポート b	2.	66	66	FC-VI ポート c
1.	67	67	FC-VI ポート d	2.
67	67	FC-VI-2 ポート A	1.	84
72	FC-VI-2 ポート b	2.	84	72
FC-VI-2 ポート c	1.	85	73	FC-VI-2 ポート d
2.	85	73	HBA ポート A	1.
72	74	HBA ポート b	2.	72

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	G630、G630-1 ポート	G730 ポート
74	HBA ポート c	1.	73	75
HBA ポート d	2.	73	75	controller_x_8
FC-VI ポート a	1.	70	70	FC-VI ポート b
2.	70	70	FC-VI ポート c	1.
71.	71.	FC-VI ポート d	2.	71.
71.	FC-VI-2 ポート A	1.	86	76
FC-VI-2 ポート b	2.	86	76	FC-VI-2 ポート c
1.	87	77	FC-VI-2 ポート d	2.
87	77	HBA ポート A	1.	76
78	HBA ポート b	2.	76	78
HBA ポート c	1.	77	79	HBA ポート d

MetroCluster FC構成におけるFC-SASブリッジのBrocadeポートの使用

Brocade FCスイッチをFC-SASブリッジに接続するために必要なポート割り当てについて説明します。ポート割り当ては、ブリッジが使用するFCポートが1つなのか2つなのかによって異なります。

Brocade 7810 スイッチは 1 つの DR グループのみをサポートします。

両方の FC ポート (FC1 と FC2) を使用する FibreBridge 7500N または 7600N ブリッジを使用したシェルフ構成

MetroCluster 1またはDRグループ1

以下の表は、 BrocadeスイッチのFCポート（FC1とFC2）の両方を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nブリッジにおいて、 MetroCluster 1またはDRグループ1でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- Brocade 6505、G610、G710、G620、G620-1、G630、および G630-1 スイッチでは、追加のブリッジを

ポート 12 〜 15 にケーブル接続できます。

- Brocade 6510 および DCX 8510-8 スイッチでは、追加のブリッジをポート 12 〜 19 にケーブル接続できます。
- Brocade 6520 スイッチでは、追加のブリッジをポート 12 〜 21 および 24 〜 45 にケーブル接続できます。
- Brocade 7810 および 7840 スイッチでは、 MetroCluster 1 または DR グループ 1 は 2 つのブリッジ スタックのみをサポートします。
- Brocade G720 および G730 スイッチでは、追加のブリッジをポート 16 〜 21 にケーブル接続できます。

* コンポーネント *		* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**6505、G610、G710** ポート	**6510、DCX 8510-8** ポート	**6520**ポート	**7810**ポート	**7840**ポート	**G620、G620-1、G630、G630-1** ポート	**G720、G730** ポート
スタック 1	bridge_x_1a	fc1	1.	8.	8.	8.	8.	8.	8.	10.
FC2	2.	8.	8.	8.	8.	8.	8.	10.	bridge_x_1b	fc1
1.	9.	9.	9.	9.	9.	9.	11.	FC2	2.	9.
9.	9.	9.	9.	9.	11.	スタック 2	bridge_x_2a	fc1	1.	10.
10.	10.	10.	10.	10.	14	FC2	2.	10.	10.	10.
10.	10.	10.	14	bridge_x_2b	fc1	1.	11.	11.	11.	11.
11.	11.	15	FC2	2.	11.	11.	11.	11.	11.	11.

MetroCluster 2または**DR**グループ**2**

以下の表は、 BrocadeスイッチのFCポート（FC1とFC2）の両方を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nブリッジにおいて、 MetroCluster 2またはDRグループ2でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- Brocade 6510、DCX 8510-8、および 7840 スイッチでは、 MetroCluster 2 または DR グループ 2 は 2 つのブリッジ スタックのみをサポートします。
- Brocade 6520 スイッチでは、追加のブリッジをポート 60 〜 69 および 72 〜 93 にケーブル接続できます。
- Brocade G620、G620-1、G630、および G630-1 スイッチでは、追加のブリッジをポート 32 〜 35 にケーブル接続できます。
- Brocade G720 および G730 スイッチでは、追加のブリッジをポート 36 〜 39 にケーブル接続できます。

- 8ノードMetroCluster構成におけるBrocade 6505、G610、およびG710スイッチのポート使用状況は示されていません。ポート数が限られているため、コントローラモデル、使用するISLおよびブリッジペアの数に応じて、サイトごとにポートを割り当てます。

* コンポーネント *		* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**6505、G610、G710** ポート	**6510、DCX 8510-8** ポート	**6520**ポート	**7810**ポート	**7840**ポート	**G620、G620-1、G630、G630-1** ポート	**G720、G730** ポート
スタック 1	bridge_x_1a	fc1	1.	N/A	32	56	N/A	20	26	32
FC2	2.	N/A	32	56	N/A	20	26	32	bridge_x_1b	fc1
1.	N/A	33	57	N/A	21	27	33	FC2	2.	N/A
33	57	N/A	21	27	33	スタック 2	bridge_x_2a	fc1	1.	N/A
34	58	N/A	22	30	34	FC2	2.	N/A	34	58
N/A	22	30	34	bridge_x_2b	fc1	1.	N/A	35	59	N/A
23	31.	35	FC2	2.	N/A	35	59	N/A	23	31.

MetroCluster 3 または **DR** グループ **3**

以下の表は、 BrocadeスイッチのFCポート（FC1とFC2）の両方を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nブリッジにおいて、 MetroCluster 3またはDRグループ3でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- Brocade G630 および G630-1 スイッチでは、追加のブリッジをポート 60 〜 63 にケーブル接続できます。
- Brocade G730 スイッチでは、追加のブリッジをポート 64、65、68、および 69 にケーブル接続できます。

* コンポーネント *		* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**G630、G630-1** ポート	**G730** ポート
スタック 1	bridge_x_1a	fc1	1.	56	58
FC2	2.	56	58	bridge_x_1b	fc1
1.	57	59	FC2	2.	57

* コンポーネント *		* ポート *	* FC スイッチに接続 *	G630、G630-1 ポート	G730 ポート
59	スタック 2	bridge_x_2a	fc1	1.	58
62	FC2	2.	58	62	bridge_x_2b
fc1	1.	59	63	FC2	2.

MetroCluster 4 または **DR** グループ **4**

以下の表は、 BrocadeスイッチのFCポート（FC1とFC2）の両方を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nブリッジにおいて、 MetroCluster 4またはDRグループ4でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- Brocade G630 および G630-1 スイッチでは、追加のブリッジをポート 80 〜 83 にケーブル接続できます。
- Brocade G730 スイッチでは、追加のブリッジをポート 84 〜 95 にケーブル接続できます。

* コンポーネント *		* ポート *	* FC スイッチに接続 *	G630、G630-1 ポート	G730 ポート
スタック 1	bridge_x_1a	fc1	1.	74	80
FC2	2.	74	80	bridge_x_1b	fc1
1.	75	81	FC2	2.	75
81	スタック 2	bridge_x_2a	fc1	1.	78
82	FC2	2.	78	82	bridge_x_2b
fc1	1.	79	83	FC2	2.

1つの**FC**ポート（**FC1**または**FC2**）のみを使用する**FibreBridge 7500N**または**7600N**を使用するシェルフ構成

MetroCluster 1または**DR**グループ**1**

以下の表は、FibreBridge 7500Nまたは7600NとBrocadeスイッチの1つのFCポート（FC1またはFC2）のみを使用した、 MetroCluster 1またはDRグループ1でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- Brocade 6505、G610、G710、G620、G620-1、G630、および G630-1 スイッチでは、追加のブリッジポート 12 〜 15。
- Brocade 6510 および DCX 8510-8 スイッチでは、追加のブリッジをポート 12 〜 19 にケーブル接続できます。

- Brocade 6520 スイッチでは、追加のブリッジをポート 16 〜 21 および 24 〜 45 にケーブル接続できます。
- Brocade G720 および G730 スイッチでは、追加のブリッジをポート 16 〜 21 にケーブル接続できます。

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**6505、G610、G710** ポート	**6510、DCX 8510-8** ポート	**6520**ポート	**7810**ポート	**7840**ポート	**G620、G620-1、G630、G630-1** ポート	**G720、G730** ポート
スタック1	bridge_x_1a	1.	8.	8.	8.	8.	8.	8.	10.
bridge_x_1b	2.	8.	8.	8.	8.	8.	8.	10.	スタック2
bridge_x_2a	1.	9.	9.	9.	9.	9.	9.	11.	bridge_x_2b
2.	9.	9.	9.	9.	9.	9.	11.	スタック3	bridge_x_3a
1.	10.	10.	10.	10.	10.	10.	14	bridge_x_3b	2.
10.	10.	10.	10.	10.	10.	14	スタック4	bridge_x_4a	1.
11.	11.	11.	11.	11.	11.	15	bridge_x_4b	2.	11.

MetroCluster 2または**DR**グループ**2**

以下の表は、 BrocadeスイッチのFCポート（FC1またはFC2）を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nブリッジにおいて、 MetroCluster 2またはDRグループ2でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- Brocade 6520 スイッチでは、追加のブリッジをポート 60 〜 69 および 72 〜 93 にケーブル接続できます。
- Brocade G620、G620-1、G630、G630-1 スイッチでは、追加のブリッジをポート 32 〜 35 にケーブル接続できます。
- Brocade G720 および G730 スイッチでは、追加のブリッジをポート 36 〜 39 にケーブル接続できます。
- 8ノードMetroCluster構成におけるBrocade 6505、G610、およびG710スイッチのポート使用状況は示されていません。ポート数が限られているため、コントローラモデル、使用するISLおよびブリッジペアの数に応じて、サイトごとにポートを割り当てます。

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	6505、G610、G710 ポート	6510、DCX 8510-8 ポート	6520ポート	7810ポート	7840ポート	G620、G620-1、G630、G630-1 ポート	G720、G730 ポート
スタック1	bridge_x_1a	1.	N/A	32	56	N/A	20	26	32
bridge_x_1b	2.	N/A	32	56	N/A	20	26	32	スタック2
bridge_x_2a	1.	N/A	33	57	N/A	21	27	33	bridge_x_2b
2.	N/A	33	57	N/A	21	27	33	スタック3	bridge_x_3a
1.	N/A	34	58	N/A	22	30	34	bridge_x_3b	2.
N/A	34	58	N/A	22	30	34	スタック4	bridge_x_4a	1.
N/A	35	59	N/A	23	31.	35	bridge_x_4b	2.	N/A

MetroCluster 3 または **DR** グループ **3**

以下の表は、 Brocadeスイッチの1つのFCポート（FC1またはFC2）を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nブリッジにおいて、 MetroCluster 3またはDRグループ3でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- Brocade G630 および G630-1 スイッチでは、追加のブリッジをポート 60 〜 63 にケーブル接続できます。
- Brocade G730 スイッチでは、追加のブリッジをポート 64、65、68、69 にケーブル接続できます。

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	G630、G630-1 ポート	G730 ポート
スタック 1	bridge_x_1a	1.	56	58
bridge_x_1b	2.	56	58	スタック 2
bridge_x_2a	1.	57	59	bridge_x_2b
2.	57	59	スタック 3	bridge_x_3a

* コンポーネント *	* ポート *	* **FC** スイッチに接続 *	**G630**、**G630-1** ポート	**G730** ポート
1.	58	62	bridge_x_3b	2.
58	62	スタック4	bridge_x_4a	1.
59	63	bridge_x_4b	2.	59

MetroCluster 4 または **DR** グループ **4**

以下の表は、 Brocadeスイッチの1つのFCポート（FC1またはFC2）を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nブリッジにおいて、 MetroCluster 4またはDRグループ4でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- Brocade G630 および G630-1 スイッチでは、追加のブリッジをポート 80 〜 83 にケーブル接続できます。
- Brocade G730 スイッチでは、追加のブリッジをポート 84 〜 95 にケーブル接続できます。

* コンポーネント *	* ポート *	* **FC** スイッチに接続 *	**G630**、**G630-1** ポート	**G730** ポート
スタック 1	bridge_x_1a	1.	74	80
bridge_x_1b	2.	74	80	スタック 2
bridge_x_2a	1.	75	81	bridge_x_2b
2.	75	81	スタック 3	bridge_x_3a
1.	78	82	bridge_x_3b	2.
78	82	スタック4	bridge_x_4a	1.
79	83	bridge_x_4b	2.	79

MetroCluster FC構成におけるISLのBrocadeポートの使用

Brocade FC スイッチを ISL にケーブル接続するために必要なポート割り当てについて説明します。

- AFF A900およびFAS9500システムは8つのISLをサポートします。BrocadeBrocade 、G620、G620-1、G630、G630-1、G720、およびG730スイッチでは8つのISLがサポートされます
- Brocade 6520 スイッチは 8 つの ISL をサポートしますが、 AFF A900およびFAS9500システムはサポートしません。

ISLポート	**6505**、**G610**、**G710** ポート	**6520**ポート	**7810**ポート	**7840**（**10Gbps**）ポート	**7840**（**40Gbps**）ポート	**6510**、**G620**、**G620-1**、**G630**、**G630-1**、**G720**、**G730** ポート
ISL 、ポート 1	20	22	ge2	ge2	ge0	40
ISL 、ポート 2	21	23	ge3	ge3	ge1	41.
ISL 、ポート 3	22	46	ge4	ge10	N/A	42
ISL 、ポート 4	23	47	ge5	ge11	N/A	43
ISL 、ポート 5	N/A	70	ge6	N/A	N/A	44
ISL 、ポート 6	N/A	71.	ge7	N/A	N/A	45
ISL 、ポート 7	N/A	94	N/A	N/A	N/A	46
ISL ポート 8	N/A	95	N/A	N/A	N/A	47

MetroCluster FC構成におけるコントローラのCiscoポートの使用

Cisco 9124V、9148S、9148V、9250i、および 9396S FC スイッチをコントローラにケーブル接続するために必要なポート割り当てについて説明します。

次の表に、 2 つの DR グループに 8 つのコントローラモジュールを配置した場合のサポートされる最大構成を示します。それよりも小規模な構成の場合、余分なコントローラモジュールの行は無視してください。

- Cisco 9132Tについては、 "MetroCluster FC構成におけるコントローラのCisco 9132Tポートの使用" 。
- Cisco 9124V および 9250i スイッチは、8 ノードMetroCluster構成ではサポートされません。

MetroCluster 1またはDRグループ1

次の表は、 Ciscoスイッチ (9132T を除く) 上のMetroCluster 1 または DR グループ 1 でサポートされているコントローラ構成を示しています。

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	9124Vポート	9148Sポート	9148Vポート	9250i ポート	9396Sポート
controller_x_1	FC-VI ポート a	1.	1.	1.	1.	1.	1.
FC-VI ポート b	2.	1.	1.	1.	1.	1.	FC-VI ポート c
1.	2.	2.	2.	2.	2.	FC-VI ポート d	2.
2.	2.	2.	2.	2.	FC-VI-2 ポート A	1.	3.
N/A	3.	N/A	N/A	FC-VI-2 ポート b	2.	3.	N/A
3.	N/A	N/A	FC-VI-2 ポート c	1.	4.	N/A	4.
N/A	N/A	FC-VI-2 ポート d	2.	4.	N/A	4.	N/A
N/A	HBA ポート A	1.	13	3.	13	3.	3.
HBA ポート b	2.	13	3.	13	3.	3.	HBA ポート c
1.	14	4.	14	4.	4.	HBA ポート d	2.
14	4.	14	4.	4.	controller_x_2	FC-VI ポート a	1.

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	9124Vポート	9148Sポート	9148Vポート	9250i ポート	9396Sポート
5.	5.	5.	5.	5.	FC-VI ポート b	2.	5.
5.	5.	5.	5.	FC-VI ポート c	1.	6.	6.
6.	6.	6.	FC-VI ポート d	2.	6.	6.	6.
6.	6.	FC-VI-2 ポート A	1.	7.	N/A	7.	N/A
N/A	FC-VI-2 ポート b	2.	7.	N/A	7.	N/A	N/A
FC-VI-2 ポート c	1.	8.	N/A	8.	N/A	N/A	FC-VI-2 ポート d
2.	8.	N/A	8.	N/A	N/A	HBA ポート A	1.
15	7.	15	7.	7.	HBA ポート b	2.	15
7.	15	7.	7.	HBA ポート c	1.	16	8.
16	8.	8.	HBA ポート d	2.	16	8.	16

MetroCluster 2またはDRグループ2

次の表は、 Ciscoスイッチ (9132T を除く) 上のMetroCluster 2 または DR グループ 2 でサポートされているコントローラ構成を示しています。

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	9124Vポート	9148Sポート	9148Vポート	9250i ポート	9396Sポート
controller_x_3	FC-VI ポート a	1.	N/A	25	25	N/A	49

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**9124V**ポート	**9148S**ポート	**9148V**ポート	**9250i** ポート	**9396S**ポート
FC-VI ポート b	2.	N/A	25	25	N/A	49	FC-VI ポート c
1.	N/A	26	26	N/A	50	FC-VI ポート d	2.
N/A	26	26	N/A	50	FC-VI-2 ポート A	1.	N/A
N/A	27	N/A	N/A	FC-VI-2 ポート b	2.	N/A	N/A
27	N/A	N/A	FC-VI-2 ポート c	1.	N/A	N/A	28
N/A	N/A	FC-VI-2 ポート d	2.	N/A	N/A	28	N/A
N/A	HBA ポート A	1.	N/A	27	37	N/A	51
HBA ポート b	2.	N/A	27	37	N/A	51	HBA ポート c
1.	N/A	28	38	N/A	52	HBA ポート d	2.
N/A	28	38	N/A	52	controller_x_4	FC-VI ポート a	1.
N/A	29	29	N/A	53	FC-VI ポート b	2.	N/A
29	29	N/A	53	FC-VI ポート c	1.	N/A	30
30	N/A	54	FC-VI ポート d	2.	N/A	30	30
N/A	54	FC-VI-2 ポート A	1.	N/A	N/A	31.	N/A

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	9124Vポート	9148Sポート	9148Vポート	9250i ポート	9396Sポート
N/A	FC-VI-2 ポート b	2.	N/A	N/A	31.	N/A	N/A
FC-VI-2 ポート c	1.	N/A	N/A	32	N/A	N/A	FC-VI-2 ポート d
2.	N/A	N/A	32	N/A	N/A	HBA ポート A	1.
N/A	31.	39	N/A	55	HBA ポート b	2.	N/A
31.	39	N/A	55	HBA ポート c	1.	N/A	32
40	N/A	56	HBA ポート d	1.	N/A	32	40

MetroCluster FC構成におけるFC-SASブリッジのCiscoポート使用

Cisco 9124V、9148S、9148V、9250i、および9396S FCスイッチをFC-SASブリッジに接続するために必要なポート割り当てについて説明します。ポート割り当ては、ブリッジが使用するFCポートが1つなのか2つなのかによって異なります。

Cisco 9132Tについては、 "MetroCluster FC構成におけるFC-SASブリッジ用のCisco 9132tポートの使用" 。

両方のFCポート（FC1およびFC2）を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nを使用するシェルフ構成

MetroCluster 1またはDRグループ1

以下の表は、FibreBridge 7500Nまたは7600NブリッジとCiscoスイッチ（9132Tを除く）の両方のFCポート（FC1とFC2）を使用した、 MetroCluster 1またはDRグループ1でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- Cisco 9250i スイッチでは、追加のMetroCluster 1 または DR グループ 1 ブリッジをポート 17 ～ 40 にケーブル接続できます。
- Cisco 9396S スイッチでは、追加のMetroCluster 1 または DR グループ 1 ブリッジをポート 17 ～ 32 にケーブル接続できます。

* コンポーネント *		* ポート *	* FC スイッチに接続 *	9124Vポート	9148Sポート	9148Vポート	9250i ポート	9396Sポート
スタック 1	bridge_x_1a	fc1	1.	17	9.	17	9.	9.
FC2	2.	17	9.	17	9.	9.	bridge_x_1b	fc1
1.	18	10.	18	10.	10.	FC2	2.	18
10.	18	10.	10.	スタック 2	bridge_x_2a	fc1	1.	19
11.	19	11.	11.	FC2	2.	19	11.	19
11.	11.	bridge_x_2b	fc1	1.	20	12.	20	12.
12.	FC2	2.	20	12.	20	12.	12.	スタック 3
bridge_x_3a	fc1	1.	21	13	21	13	13	FC2
2.	21	13	21	13	13	bridge_x_3b	fc1	1.
22	14	22	14	14	FC2	2.	22	14
22	14	14	スタック4	bridge_x_4a	fc1	1.	23	15
23	15	15	FC2	2.	23	15	23	15
15	bridge_x_4b	fc1	1.	24	16	24	16	16

MetroCluster 2またはDRグループ2

以下の表は、FibreBridge 7500Nまたは7600NとCiscoスイッチ（9132Tを除く）の両方のFCポート（FC1とFC2）を使用した、 MetroCluster 2またはDRグループ2でサポートされるシェルフ構成を示しています。ケーブル接続表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- Cisco 9124V および 9250i スイッチは、8 ノードMetroCluster構成ではサポートされません。
- Cisco 9396S スイッチでは、追加のMetroCluster 2 (DR グループ 2) ブリッジをポート 65 〜 80 にケーブル接続できます。

* コンポーネント *		* ポート *	* FC スイッチに接続 *	9124Vポート	9148Sポート	9148Vポート	9250i ポート	9396Sポート
スタック 1	bridge_x_1a	fc1	1.	N/A	33	41.	N/A	57
FC2	2.	N/A	33	41.	N/A	57	bridge_x_1b	fc1
1.	N/A	34	42	N/A	58	FC2	2.	N/A
34	42	N/A	58	スタック 2	bridge_x_2a	fc1	1.	N/A
35	43	N/A	59	FC2	2.	N/A	35	43
N/A	59	bridge_x_2b	fc1	1.	N/A	36	44	N/A
60	FC2	2.	N/A	36	44	N/A	60	スタック 3
bridge_x_3a	fc1	1.	N/A	37	45	N/A	61	FC2
2.	N/A	37	45	N/A	61	bridge_x_3b	fc1	1.
N/A	38	46	N/A	62	FC2	2.	N/A	38
46	N/A	62	スタック4	bridge_x_4a	fc1	1.	N/A	39
47	N/A	63	FC2	2.	N/A	39	47	N/A
63	bridge_x_4b	fc1	1.	N/A	40	48	N/A	64

1つのFCポート（FC1またはFC2）のみを使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nを使用するシェルフ構成

MetroCluster 1またはDRグループ1

以下の表は、 Ciscoスイッチ（9132Tを除く）上の1つのFCポート（FC1またはFC2）を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nブリッジについて、 MetroCluster 1またはDRグループ1でサポートされるシェルフ構成を示しています。リファレンス構成ファイル（RCF）はFibreBridgeブリッジ上の1つのFCポートをサポートしていないため、バックエンドのファイバチャネルスイッチを手動で設定する必要があります。

"Cisco FC スイッチを手動で設定"

ケーブルテーブルを使用するときは、次の点に注意してください。

- Cisco 9250i スイッチでは、追加のMetroCluster 1 または DR グループ 1 ブリッジをポート 17 〜 40 にケーブル接続できます。
- Cisco 9396S スイッチでは、追加のMetroCluster 1 または DR グループ 1 ブリッジをポート 17 〜 32 にケーブル接続できます。

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	9124Vポート	9148Sポート	9148Vポート	9250i ポート	9396Sポート
スタック 1	bridge_x_1a	1.	17	9.	17	9.	9.
bridge_x_1b	2.	17	9.	17	9.	9.	スタック 2
bridge_x_2a	1.	18	10.	18	10.	10.	bridge_x_2b
2.	18	10.	18	10.	10.	スタック 3	bridge_x_3a
1.	19	11.	19	11.	11.	bridge_x_3b	2.
19	11.	19	11.	11.	スタック4	bridge_x_4a	1.
20	12.	20	12.	12.	bridge_x_4b	2.	20
12.	20	12.	12.	スタック5	bridge_x_5a	1.	21
13	21	13	13	bridge_x_5b .	2.	21	13
21	13	13	スタック6	bridge_x_6a	1.	22	14
22	14	14	bridge_x_6b	2.	22	14	22
14	14	スタック7	bridge_x_7a	1.	23	15	23
15	15	bridge_x_7b	2.	23	15	23	15
15	スタック8	bridge_x_8a	1.	24	16	24	16
16	bridge_x_8b	2.	24	16	24	16	16

MetroCluster 2またはDRグループ2

以下の表は、 Ciscoスイッチ（9132Tを除く）上の1つのFCポート（FC1またはFC2）を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nブリッジについて、 MetroCluster 2またはDRグループ2でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- Cisco 9124V および 9250i スイッチは、8 ノードMetroCluster構成ではサポートされていません。
- Cisco 9396S スイッチでは、追加のMetroCluster 2 または DR グループ 2 ブリッジをポート 65 〜 80 にケーブル接続できます。

* コンポーネント *	* ポート *	* FC スイッチに接続 *	**9124V**ポート	**9148S**ポート	**9148V**ポート	**9250i** ポート	**9396S**ポート
スタック 1	bridge_x_1a	1.	N/A	33	41.	N/A	57
bridge_x_1b	2.	N/A	33	41.	N/A	57	スタック 2
bridge_x_2a	1.	N/A	34	42	N/A	58	bridge_x_2b
2.	N/A	34	42	N/A	58	スタック 3	bridge_x_3a
1.	N/A	35	43	N/A	59	bridge_x_3b	2.
N/A	35	43	N/A	59	スタック4	bridge_x_4a	1.
N/A	36	44	N/A	60	bridge_x_4b	2.	N/A
36	44	N/A	60	スタック5	bridge_x_5a	1.	N/A
37	45	N/A	61	bridge_x_5b .	2.	N/A	37
45	N/A	61	スタック6	bridge_x_6a	1.	N/A	38
46	N/A	62	bridge_x_6b	2.	N/A	38	46
N/A	62	スタック7	bridge_x_7a	1.	N/A	39	47
N/A	63	bridge_x_7b	2.	N/A	39	47	N/A
63	スタック8	bridge_x_8a	1.	N/A	40	48	N/A
64	bridge_x_8b	2.	N/A	40	48	N/A	64

MetroCluster FC構成におけるISLのCiscoポート使用

Cisco 9124V、9148S、9148V、9250i、および 9396S FC スイッチを ISL にケーブル接続するために必要なポート割り当てについて説明します。

次の表に、使用する ISL ポートを示します。ISL ポートの用途は、構成内のすべてのスイッチで同じです。

- Cisco 9132Tについては、 "MetroCluster FC構成におけるISL用のCisco 9132Tポートの使用" 。
- Cisco 9250i スイッチには 24 ポート ライセンスが必要です。

ISLポート	9124Vポート	9148Sポート	9148Vポート	9250i ポート	9396Sポート
ISL 、ポート 1	9.	20	9.	12.	44
ISL 、ポート 2	10.	24	10.	16	48
ISL 、ポート 3	11.	44	11.	20	92
ISL 、ポート 4	12.	48	12.	24	96
ISL 、ポート 5	N/A	N/A	33	N/A	N/A
ISL 、ポート 6	N/A	N/A	34	N/A	N/A
ISL 、ポート 7	N/A	N/A	35	N/A	N/A
ISL ポート 8	N/A	N/A	36	N/A	N/A

MetroCluster FC構成におけるコントローラのCisco 9132Tポートの使用

Cisco 9132T FC スイッチをコントローラにケーブル接続するために必要なポートの割り当てについて説明します。

次の表は、両方のFCポート（FC1およびFC2）を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nを使用するコントローラ構成を示しています。次の表に、2つのDRグループに4台と8台のコントローラモジュールを含む、サポートされる最大構成を示します。

8ノード構成の場合は、RCFは提供されないため、ゾーニングを手動で実行する必要があります。

MetroCluster 1またはDRグループ1

次の表は、 Cisco 9132TスイッチのMetroCluster 1またはDRグループ1でサポートされるコントローラ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- AFF A900およびFAS9500システムには、8 つの FC-VI ポート (FC-VI-1 および FC-VI-2 の場合は a、b、c、d) があります。

* コンポーネント *		* ポート *	**FC_switch** に接続します **…**	**9132T 1x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**8**ノード）
controller_x_1	FC-VI ポート a	1.	LEM1-1.	LEM1-1.	LEM1-1.	FC-VI ポート b
2.	LEM1-1.	LEM1-1.	LEM1-1.	FC-VI ポート c	1.	LEM1-2
LEM1-2	LEM1-2	FC-VI ポート d	2.	LEM1-2	LEM1-2	LEM1-2
FC-VI-2 ポート A	1.	LEM1-3	LEM1-3	N/A	FC-VI-2 ポート b	2.
LEM1-3	LEM1-3	N/A	FC-VI-2 ポート c	1.	LEM1-4.	LEM1-4.
N/A	FC-VI-2 ポート d	2.	LEM1-4.	LEM1-4.	N/A	HBA ポート A
1.	LEM1-5.	LEM1-5.	LEM1-3	HBA ポート b	2.	LEM1-5.
LEM1-5.	LEM1-3	HBA ポート c	1.	LEM1-6.	LEM1-6.	LEM1-4.
HBA ポート d	2.	LEM1-6.	LEM1-6.	LEM1-4.	controller_x_2	FC-VI ポート a
1.	LEM1-7.	LEM1-7.	LEM1-5.	FC-VI ポート b	2.	LEM1-7.
LEM1-7.	LEM1-5.	FC-VI ポート c	1.	LEM1-8	LEM1-8	LEM1-6.
FC-VI ポート d	2.	LEM1-8	LEM1-8	LEM1-6.	FC-VI-2 ポート A	1.

* コンポーネント *		* ポート *	**FC_switch** に接続します **…**	**9132T 1x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**8**ノード）
LEM1-9	LEM1-9	N/A	FC-VI-2 ポート b	2.	LEM1-9	LEM1-9
N/A	FC-VI-2 ポート c	1.	LEM1-10	LEM1-10	N/A	FC-VI-2 ポート d
2.	LEM1-10	LEM1-10	N/A	HBA ポート A	1.	LEM1-11
LEM1-11	LEM1-7.	HBA ポート b	2.	LEM1-11	LEM1-11	LEM1-7.
HBA ポート c	1.	LEM1-12	LEM1-12	LEM1-8	HBA ポート d	2.

MetroCluster 2またはDRグループ2

次の表は、 Cisco 9132Tスイッチ上のMetroCluster 2またはDRグループ2でサポートされるCisco 9132Tコントローラ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- AFF A900およびFAS9500システムには、8 つの FC-VI ポート (FC-VI-1 および FC-VI-2 の場合は a、b、c、d) があります。
- MetroCluster 2 または DR グループ 2 は、 AFF A900およびFAS9500システム用のCisco 9132T スイッチではサポートされていません。
- MetroCluster 2またはDRグループ2は、8ノードのMetroCluster構成でのみサポートされます。

* コンポーネント *		* ポート *	**FC_switch** に接続します **…**	**9132T 1x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**8**ノード）
controller_x_3	FC-VI ポート a	1.	N/A	N/A	LEM2-1	FC-VI ポート b
2.	N/A	N/A	LEM2-1	FC-VI ポート c	1.	N/A
N/A	LEM2-2	FC-VI ポート d	2.	N/A	N/A	LEM2-2
FC-VI-2 ポート A	1.	N/A	N/A	N/A	FC-VI-2 ポート b	2.
N/A	N/A	N/A	FC-VI-2 ポート c	1.	N/A	N/A

* コンポーネント *		* ポート *	**FC_switch** に接続します **…**	**9132T 1x LEM（4ノード）**	**9132T 2x LEM（4ノード）**	**9132T 2x LEM（8ノード）**
N/A	FC-VI-2 ポート d	2.	N/A	N/A	N/A	HBA ポート A
1.	N/A	N/A	LEM2-3	HBA ポート b	2.	N/A
N/A	LEM2-3	HBA ポート c	1.	N/A	N/A	LEM2-4
HBA ポート d	2.	N/A	N/A	LEM2-4	controller_x_4	FC-VI 1 ポート a
1.	N/A	N/A	LEM2-5	FC-VI 1 ポート b	2.	N/A
N/A	LEM2-5	FC-VI-1 ポート c	1.	N/A	N/A	LEM2-6
FC-VI 1 ポート d	2.	N/A	N/A	LEM2-6	FC-VI-2 ポート A	1.
N/A	N/A	N/A	FC-VI-2 ポート b	2.	N/A	N/A
N/A	FC-VI-2 ポート c	1.	N/A	N/A	N/A	FC-VI-2 ポート d
2.	N/A	N/A	N/A	HBA ポート A	1.	N/A
N/A	LEM2-7	HBA ポート b	2.	N/A	N/A	LEM2-7
HBA ポート c	1.	N/A	N/A	LEM2-8	HBA ポート d	2.

MetroCluster FC構成におけるFC-SASブリッジ用のCisco 9132Tポートの使用

両方の FC ポートを使用してCisco 9132T FC スイッチを FC-to-SAS ブリッジにケーブル接続するために必要なポート割り当てについて説明します。

> 1xLEM モジュールを搭載したCisco 9132T スイッチを使用する場合、1 つのブリッジ スタックのみがサポートされます。

MetroCluster 1またはDRグループ1

次の表は、 Cisco 9132TスイッチのFCポート（FC1とFC2）の両方を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nブリッジにおいて、 MetroCluster 1またはDRグループ1でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- 4 ノード構成では、2xLEM を搭載したCisco 9132T スイッチのポート LEM2-1 〜 LEM2-8 に追加のブリッジをケーブル接続できます。

* コンポーネント *		* ポート *	**FC_switch** に接続します **…**	**9132T 1x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**8**ノード）
スタック 1	bridge_x_1a	fc1	1.	LEM1-13	LEM1-13	LEM1-9
FC2	2.	LEM1-13	LEM1-13	LEM1-9	bridge_x_1b	fc1
1.	LEM1-14	LEM1-14	LEM1-10	FC2	2.	LEM1-14
LEM1-14	LEM1-10	スタック 2	bridge_x_2a	fc1	1.	N/A
LEM1-15	LEM1-11	FC2	2.	N/A	LEM1-15	LEM1-11
bridge_x_2b	fc1	1.	N/A	LEM1-16	LEM1-12	FC2

MetroCluster 2またはDRグループ2

次の表は、 Cisco 9132Tスイッチの両方のFCポート（FC1とFC2）を使用するFibreBridge 7500Nまたは7600Nブリッジについて、 MetroCluster 2またはDRグループ2でサポートされるシェルフ構成を示しています。この構成表を使用する際は、以下の点にご注意ください。

- 8 ノード構成では、2 つの LEM を搭載したCisco 9132T スイッチのポート LEM2-13 〜 LEM2-16 に追加のブリッジをケーブル接続できます。

* コンポーネント *		* ポート *	**FC_switch** に接続します **…**	**9132T 1x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**8**ノード）
スタック 1	bridge_x_1a	fc1	1.	N/A	N/A	LEM1-9
FC2	2.	N/A	N/A	LEM1-9	bridge_x_1b	fc1
1.	N/A	N/A	LEM1-10	FC2	2.	N/A
N/A	LEM1-10	スタック 2	bridge_x_2a	fc1	1.	N/A
N/A	LEM1-11	FC2	2.	N/A	N/A	LEM1-11

* コンポーネント *		* ポート *	**FC_switch** に接続します **…**	**9132T 1x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**8**ノード）
bridge_x_2b	fc1	1.	N/A	N/A	LEM1-12	FC2

MetroCluster FC構成におけるISL用のCisco 9132Tポートの使用

Cisco 9132T FC スイッチを ISL にケーブル接続するために必要なポート割り当てについて説明します。

次の表に、Cisco 9132TスイッチでのISLポートの用途を示します。

ISLポート	**9132T 1x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**4**ノード）	**9132T 2x LEM**（**8**ノード）
ISL 、ポート 1	LEM1-15	LEM2-9	LEM1-13
ISL 、ポート 2	LEM1-16	LEM2-10	LEM1-14
ISL 、ポート 3	N/A	LEM2-11	LEM1-15
ISL 、ポート 4	N/A	LEM2-12	LEM1-16
ISL 、ポート 5	N/A	LEM2-13	N/A
ISL 、ポート 6	N/A	LEM2-14	N/A
ISL 、ポート 7	N/A	LEM2-15	N/A
ISL ポート 8	N/A	LEM2-16	N/A

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。